道路を遮熱 ランナー守れ

2020年への情熱 第1部 挑戦者たち 3

浅草寺（台東区）近くの国道6号。昨年11月の深夜、2020年東京五輪・パラリンピックに向けた道路舗装工事が進んでいた。

「遮熱性舗装を積極的に採用する」。16年、国土交通省のある検討会が一つの提言をまとめた。テーマは、20年大会で公道を使うマラソンの選手らを酷暑からどう守るか。委員の1人で、提言に先立って道路を試走した元五輪マラソン選手、瀬古利彦(62)は「遮熱性舗装は明らかに涼しい」と太鼓判を押した。

「太陽熱を遮り、路面温度を抑える」技術は、厚さ1ミリ未満で路面を覆う灰色塗料に秘密がある。開発はある偶然から始まった。

01年2月、大手道路会社、日本舗道（現NIPPO、中央区）技術研究所の吉中保(52)は、土木学会誌に載った「遮熱塗料の可能性を求めて」という副題の論文に目を留めた。ヒートアイランド対策の研究担当。当時は気化熱で路面を冷ます方法が主流だったが、必要な水の確保に難があり、「遮熱」に光明を感じた。ただし、論文の塗料は「建築用」だった。

畑違いの論文は、社員4人の建築資材開発会社を経営していた深江典之(61)が、知人の大学教授に頼まれて書いた。翌月、吉中から「大変興味ある製品」とファクスが届いたが、「車が走れば塗料ははがれる。無理」と内心冷ややかだった。

だが、吉中は遮熱の可能性に驚愕する。塗料を買って実験すると、黒ですら通常の舗装より10度も下がった。道路用塗料の実用例があると深江を口説き、共同開発が始まった。

樹脂に顔料を配合するのが塗料だ。深江の塗料は、太陽熱エネルギーが集まる近赤外線を、特殊な顔料で7割も反射できる。その特長を伸ばしつつ、車の走行に耐える剛性とアスファルトの変形に適応できる柔軟性が欠かせない。さらに適切な色の濃さと保持、臭気の抑制、コスト……。配合は何百通りにも膨らんだ。

「この顔料、いけません？」――。深江は吉中らと頻繁にメールを交わし、機密の配合情報も進んで教えた。競合他社に漏れかねないが、「研究に真摯で、中小企業を見下さない。信頼できた」。吉中も「私が『遮熱』に魅了されて始めた開発。逃してなるものかと必死だった」と語った。

冬。吉中は約50種に絞った配合試料を携え、日差しの強い沖縄に飛んだ。夏まで待ちきれなかったからだ。02年末、遮熱性舗装は完成した。08年、都が本格導入し、17年度末、都道の施工区間は約96キロに延びた。

遮熱性舗装は11年、世界で脚光を浴びた。「道路の五輪」とも呼ばれる世界道路会議で、約800本の研究論文の中から最上位の賞に選ばれた。

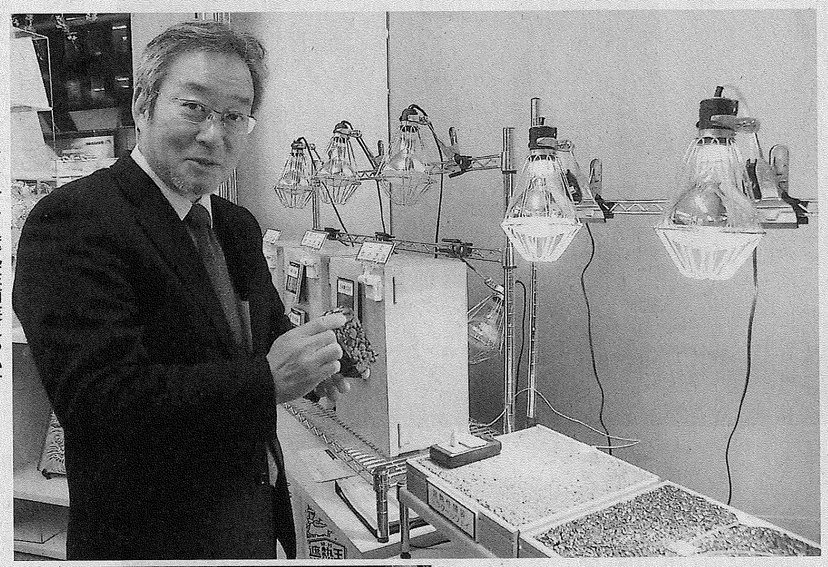
深江は今、遮熱性塗料の専門会社「ミラクール」（中央区）の役員を務める。社員8人。今も吉中らと性能向上へ研究を続ける。世界を驚かせる1年半後を心待ちにしながら。

＝敬称略

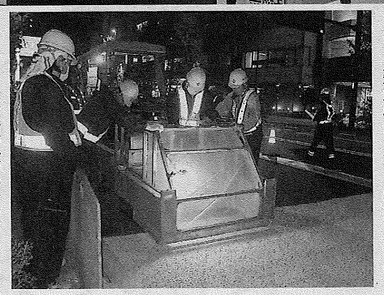
（岡雄一郎）

マラソンコース舗装

酷暑対策 畑違いの論文が生んだ塗料



アスファルト片を手に、遮熱性舗装について説明するミラクールの深江典之さん＝中央区



2020年東京五輪のマラソンコースとなる国道6号では、遮熱性塗料を路面に吹き付ける作業が行われた＝2018年11月、台東区

井の頭で培った創作と愛

三鷹市で1～2月、巡回展「吉村昭と津村節子――井の頭に暮らして――」がある。ともに作家で夫婦の吉村さん（1927～2006）と津村さん（1928～）は長年、市内で暮らした。資料の展示などを通じ、2人の文学や市とのゆかりを紹介する。

現在の荒川区で生まれた吉村さんは、学習院大学を中退後、1953年に同人仲間だった津村さんと結婚。66年に「星への旅」で太宰治賞を受賞し、同年の「戦艦武蔵」で記録文学に新境地をひらいた。「ふぉん・しいぼるとの娘」「冷い夏、熱い夏」「破獄」「天狗争乱」などを発表。数多くの文学賞を受けた。

福井市出身の津村さんは学習院短大卒。65年に「玩具」で芥川賞を受賞した。自伝的小説や歴史小説、エッセーなどで幅広く活躍。代表作には「智恵子飛ぶ」「流星雨」「異郷」などがある。

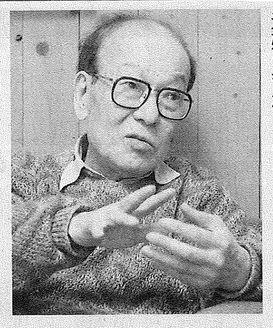
三鷹市スポーツと文化財団などによると、2人は69年、「都心に近く、自然も残り、創作に理想的だ」などとして市内に転居。都立井の頭公園近くに居を構えた。吉村さんは最晩年、膵臓がんの手術を受けて、自宅で療養。没後の2006年夏、津村さんはお別れの会で、「ヒグラシが鳴いて井の頭公園の風が吹いてくるのを喜んでいた」と吉村さんについて振り返っている。

巡回展では「戦艦武蔵」や「玩具」の初版本、2人の色紙や写真などを展示。財団学芸員の三浦穂高さんは「2人にとって、作家としても夫婦生活を送るうえでも、三鷹は大事な場所だったのだろう」と話す。

巡回展は12日～2月2日が井の頭コミュニティ・センター図書室（井の頭2丁目）、2月5～24日が市立三鷹図書館（上連雀8丁目）。2カ所で内容が一部異なる。ともに無料。開館時間や休館日の問い合わせは山本有三記念館（0422・42・6233）へ。

（河井健）

津村節子さん



吉村昭さん

三鷹で巡回展「吉村昭と津村節子」

八王子芸者衆 ことほぐ舞

八王子芸者衆が舞を披露する「新春の宴」が3日、八王子市のセレオ八王子であった。華やかな踊りに大勢の観客が見入った。

登場したのは、あでやかな着物を身にまとった置屋「ゆき乃恵」の芸妓3人。唄や太鼓の音色に合わせて「姫三社」や「初春」、「梅は咲いたか」など6演目を披露した。すずや扇子を使った華麗な舞が終わるたび、会場は大きな拍手に包まれた。

妻と訪れた八王子市の鈴木忠興さん(67)は「初めて見た。みなさんきれいで、踊りもすてきだった」と喜んでいた。

八王子芸者衆が舞を披露

東京

千代田 中央 新宿 港 文京 品川 北 目黒 大田 世田谷 渋谷 中野 杉並 豊島 板橋 練馬

速報や写真・話題の提供、催しなどの連絡先
朝日新聞 東京総局
〒104-8011
中央区築地5-3-2
☎ 03-5541-8435
fax 03-3545-2019
mail tokyo@asahi.com

購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00～21:00)
広告のご用は
☎ 03-3547-5552
折り込みのご用は
☎ 03-3544-7621

きょうの天気

6～12時 降水確率 12～18時

0	大手町	0	
0	練馬	0	
0	府中	0	
0	八王子	0	

	大手町	練馬	府中	八王子
	東南東	南東	南東	
	風弱い	南東	南東	
湿度	40%	波	0.5m	

気温	最高	最低
大手町	11度	0度
練馬	10度	0度
府中	10度	−2度
八王子	10度	−3度

あす

	大手町	練馬	府中	八王子
	北北西	北東	北東	
	北北西	北東	北東	
湿度	40%	波	1.0m	

1月5日
(旧11月30日)

日出	6.51
日入	16.41
月出	5.55
月入	16.02
月齢	28.8